

令和5年3月16日

足立区立瀧江小学校
学校長 向山 敦子様

足立区立瀧江小学校
開かれた学校づくり協議会
会長 大西 るり子

令和4年度 学校関係者評価報告書

1 自己評価書全般について

「学力向上」「健康な心身の育成」のためどうすればよいか分析をし、しっかりとした取り組みがされ、教職員の工夫と地道な努力が伺えます。着実に児童たちの取り組む意欲が高まり、力となっています。制限のある中、少しずつコロナ禍前に戻りつつあり対応も大変だと思いますが、「笑顔あふれる瀧江小」を目標に引き続き「瀧江の子どものために」学校、保護者、地域が連携していきたいと思えます。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

【学力向上】

国語・算数の基礎的・基本的な学習の定着のため、「けやきタイム」「パワーアップタイム」「けやき教室」「ICTの活用」など教職員の授業力向上も含めて色々な取り組みを計画し、実行に移しています。今年度取り組まれた「算数・漢字コンテスト」では、児童の意欲、自信につながり結果もできています。学校評価アンケートでは、保護者より「学力向上について」「健全育成について」平均80%近くの肯定的な評価を得、特に「教職員は熱意をもって児童の指導を行っている」90.4%の高評価でした。目標まであと少しのところまでできているので、これからも継続して取り組んでほしいです。

【健康な心身の育成】

来校者への挨拶が課題となっています。挨拶はコミュニケーションにおいて基本であり、最も大切にしなければならないものと思います。道徳授業もしっかりとできていますが、学校だけでは身につかないもので家庭、地域の力も必須だと感じます。日頃から挨拶や校長先生の大切にしている「ありがとう」の言葉が自然にできるような相手を思いやるあたたかな人間関係が育まれるよう学校・保護者・地域が連携して協力していければと思います。

【家庭・地域との連携】

家庭での生活習慣、学習習慣の重要性を感じます。

今年度は、活動の制限もだいぶ緩和され地域と協力した学習も多くできています。子どもたちが率先して地域パトロールを希望し、地元町会や消防団に協力を仰ぎ行動を実現させたこと、地域としても協力し応援したいと思えます。花いっぱい活動では、児童と一緒に開かれた学校づくり協議会も参加し、足立区から優秀賞をいただきました。例年の課題ですが、保護者アンケートの「連携について」の肯定的評価が少し目標に達しませんでした。発信手段も多くなってきたので今後も引き続きお願いします。

3 その他

足立区教育委員会指導力向上中核校（外国語活動・外国語科）として研究をすすめ、今年度研究発表したことは児童にとって大きな自信と成長につながっていると感じます。「トルコ・シリア地震救援金」の募金活動を主体的に考え行動したことは、素晴らしいことだと感動しました。また、伝統である「落語・俳句・将棋・百人一首」などの様々な活動は児童の健やかな成長と活躍の場を広げています。今後も継続していただきたいです。

協議会としても引き続き学校・保護者と連携し、進化し続ける瀧江小となるよう協力していきたいと思えます。